

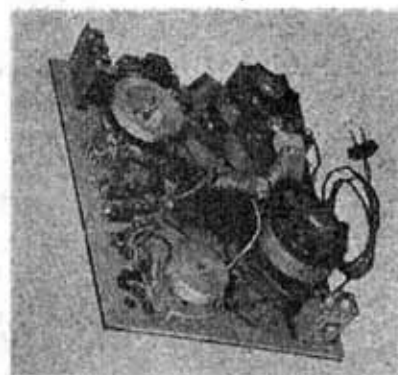
クラウンのピックアップ2種

写真は上: A-155, 下: A-20で、ともにターン・オーバーLP、SP両用のクリスタル・ピックアップである。規格はつぎの通り。レスポンス: 20~13000% 出力: LP1000% (0.7V 43mm/S) SP1.5V 75mm/S 片LP、SPとも8~9gr. 負荷抵抗 500k Ω ~1M Ω 、トラッキング・エラー: 1



サンヨーのテレビ

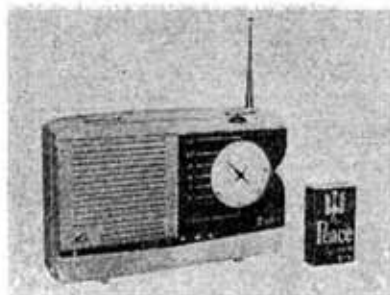
14T-2500M型の規格はつぎの通り。感度: 相違測定用 映像周波数: 1~6チャンネル 中間周波数: 映像20.25Mc, 音声23.75Mc 音声出力: 加音2W 映像レスポンス: 3.7Mcまで ブラック管: 14RP4A, 14T型, 電圧偏向, 静電集束 99% 価格: マイナス 48,000円。



東京電気音響KKのステレオ録音用メカ

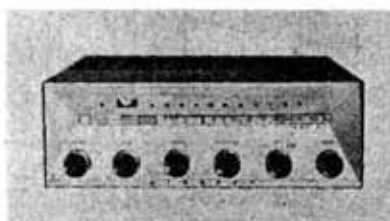
写真は東京電気音響KKから発表されたステレオ・テープ録音用のメカで、3モーター、3ヘッド、プッシュ・ボタン式、ステレオ・ヘッドはセミプロ級のもので、外観はステンレス張り。規格はつぎの通り。テープ速度: 7.5吋/秒 希望により3.5吋/秒または15吋/秒に切替可能 ヘッド: 2素子、積層型、3ヘッド、録音用インピーダン

ス:10 Ω 再生用:300 Ω テープスタート:1秒以内 テープストップ:0.5秒以内 早送り時間:7吋リールで50秒 コクプラッタ:1000% 7.5吋/秒で \pm 0.25%以内 SN比: -10db以上 シンク型では-50db以上 外径寸法: 100 \times 330 \times 160mm. 開合おせばつぎへ、(都内墨田区千歳町2の16、東京電気音響KK)。



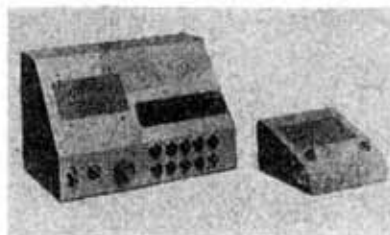
ビクターの2バンド・ポータブル

4P-2005型は我が国最初の2バンド・ポータブルで、規格はつぎの通り。回路方式: 2バンド3ウエイ・4球スーパー 周波数範囲: 530~1605kc, 3.8~7Mc 出力: 200mW 使用真空管: 1AB6/DK96, 1AJ4/DF96, 1AH5/DAF96, 3Y4/DL97 セレン整流器つき。アンテナ: フェライト・コア・アンテナ自磁 SP3.5"PM 大きさ140 \times 210 \times 50mm 11,300円。



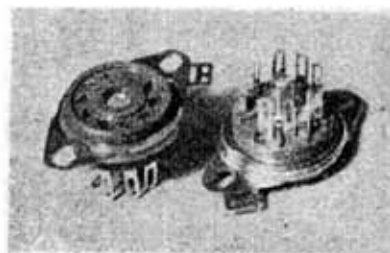
パイオニアのアンプ

AM-Q120は、オーディオマスター・シリーズのうちの1つで、出力12Wのメイン・アンプとHi-Fiチューナ、短波チューナ、プリアンプが1つのケースに組み込まれているもので、規格はつぎの通り。ラジオ・チューナ部: 6BE6, 6BD6, グルマ・ダイオード使用、プリアンプ部: 12AX7 \times 2, SN比50db以上、メインアンプ部: 12AX7, 6BQ5 \times 2, 6X4 \times 2 レスポンス: 30%~30kc 10.5dB. 全高調波歪0.5% 大きさ132 \times 390 \times 277mm. 19,900円。



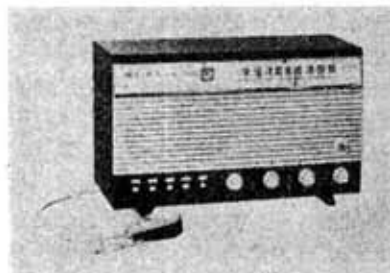
アトムの10局用インターホン

LT-10はプレス・トーク式で、10箇所と通話できる。子機から親機を呼出す場合は、子機に付属しているプッシュ・ボタンを押すと、パイロットランプが点火し、親機が通話状態に切かえらるとランプは消える。(都内墨田区寺島町6の98 浅川電機産業KK)



ラックスの9ピン・ソケット

写真はラックスから発表されたキールド製ソケットで、アース端子自磁。定価35円。実物見本入用の方は30円同封のうえへ。(大阪市西成区杉橋通り丁目22 同水電機工業KK)



ビクターのラジオ

R-608型は6 $\frac{1}{2}$ "PMスピーカー2個を出力管6BQ5で駆動し、つぎの特長がある。①レコーダ・プレーアをつけてHi-Fi電器となる。②3ウエイあるいは3スピーカーをつけると、親子ラジオになる。③リモート・スイッチ付イヤホンをつけ、リモート・コントロールできる。④インターホン・ユニットと3ウエイスピーカーを併用して家庭電話となる。使用真空管は6EB6, 6BA6, 6AV6, 6BQ5, 6X4, 6E5. 出力は無歪3W. 大きさ367 \times 548 \times 213mm.



スター無線測器のバルボロ

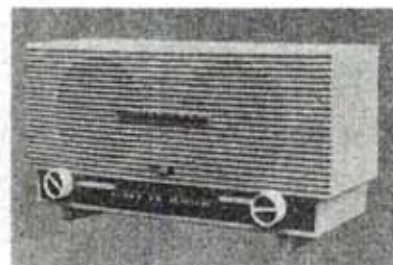
S-220は、最低レンジ1Vを有するほか、低周波交流がピーク・ボルト・メータ式に測定できる。測定用途は直流、低周波、高周波交流、低圧の4種切替。直流電圧 \pm 1, 3, 10, 30, 100, 300, 1000V \pm 3%. 入力抵抗11M. 高圧プローブで90KVまで。低周波交流電圧は直流と同一電圧範囲

測定周波範囲は205k~200kc±5%、高周波交流電圧は1, 3, 10, 30, 100V±3%、測定周波数範囲100kc~300Mc±5%、使用真空管は6AL5, 12AU7, 6X4。京都市中京区烏丸通二条西入スター無線器KK)



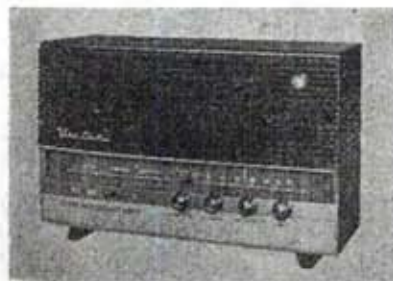
KSのプレーア・ユニット

RL-35型はマグネチック・スピード・コントロール付きのプレーア・ユニットで、速度切替はダイヤルで全回転式に行なえる。PUはロケット型で、LP, SPの切替はターンオーバー式、規格はつぎの通り。電圧: 90~110V 消費電力: 8W 回転数33 $\frac{1}{3}$, 45, 78rpm。ターン・ケーブル: 6M $\frac{1}{2}$ 重さ: 2.0kg, 4,750円(名古屋市北区城東町6の141 鈴木電機KK)



トリオの2バンド・ホーム・ラジオ

トリオから写真のような2バンド・スーパーが発表された。周波数帯は535~1605kcと、3.9~12Mcの2バンドで、5球トランスレス方式である。完成品と全部品キットの2種。都内大田区雪ヶ谷125 春日無線工業KK)



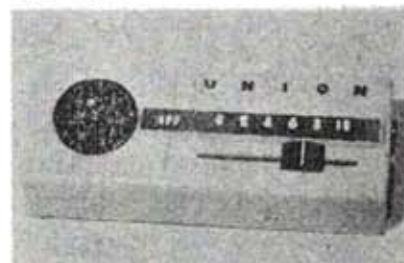
ナショナルのラジオ

UP-770型は、プッシュ・ボタンを押すだけで、自動電話が相手の番号をえらぶようにリモート・コントロールできるほか、つぎのような特徴がある。①全波整流管 6CA4の使用により、ヒータ電流が少なくて、大きな出力電流が得られる。②Hi-Fi用超円スピーカー(φ×5 $\frac{1}{2}$)の使用で、高音、高音、指向特性がすぐれている。③3段切替トーン・コントロール付き。19,900円。



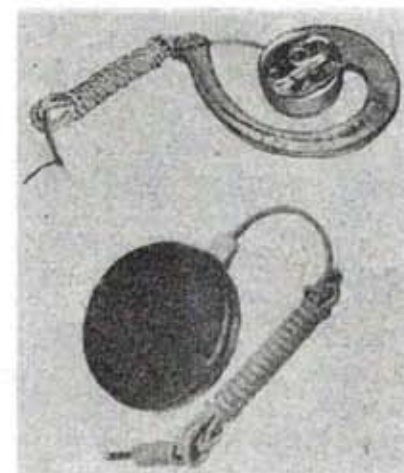
リオンのHi-Fi SPシステム

SS-100はシングル・スピーカーで、ダブル・ロールの演奏をする構造になっている。スピーカー・メカニズム(SD-180W)は、コーンに音響用パーチメント・コーンのフリー・エッジで、ボイス・コイルは高音用と低音用の2つがベリリウム・ケーブルのバネで連結された、ダブル・ボイス・コイルである。



ユニオンのトランジスタ・ラジオ

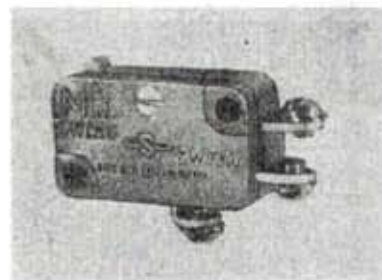
写真はユニオンから発表された1石ワイドで、 μ 同調方式、SWつきボリューム、タップ切替スイッチつきである。使用電池は単4 2個で約4000時間、レシーバ2連取りつけ可能。価格は電灯線アンテナ、コイル・アンテナ、ピニール・ケースつきで3,900円。(横浜市鶴見区下末吉町915)



日本圧電気の耳掛レシーバとスピーカー

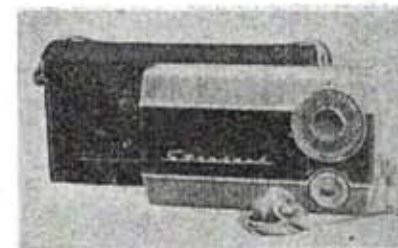
写真上のR-3型クリスタル・レシーバは、耳穴挿入型ともがって、長時間の使用が望である。プ

ラスチック製の耳掛けは左右耳の交換自由。ボーナブル・ラジオ、録音器、テレビの録取等に好適である。重量は10g。下のS-2型はクリスタル・スピーカーで、耳の近くにおくだけで、充分の音量が得られる。外径50mm、厚さ18mm、重さ26g。(都内三鷹市上連谷601)



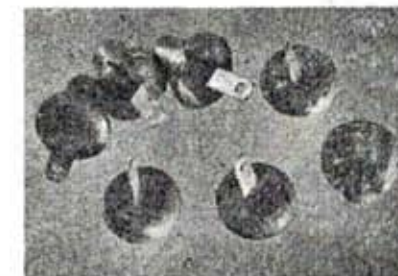
サン電業社のマイクロ・スイッチ

M8-2型小型、軽量、構造型中で、100万回以上の使用にもたえらる。また電圧、電流電圧接点にもっとも適し、補助操作装置を併用すれば作動力を約半まで減圧できる。接点はベリリウム青銅製のスプリングと銅接点を使用。(都内品川区西戸越1の915 サン電業社)



スタンダードのポータブル

SR-150の規格はつぎの通り。回路方式: 電流式スーパー・ヘテロダイン 送受: 極高電圧増圧アンテナ: 4×20×120mmのフェリスダ。フ・アンテナ 真空管: 1AQ5, 1R5-SF, 1AM1, 1T4-SF, 1AS, 1U5-SF 電圧: 1.5V, UM $\frac{1}{2}$ 45V, RL(0.30L)・セーター: スタンダード-M-206 大きさ142×86×80mm 4,300円。



ムラタの円板接地型セラミック・コンデンサ

従来のペーパー・コンデンサ等を、VHFに使用すると、リード線や箔体の持つインダクタンスのため共振を起して、有効なバイパスを失くなるが、これ等の欠点を除いてUHF迄完全にバイパスの役目を果たすように設計されたのがこの接地型セラミック・コンデンサである。リード型端子より完全な接地ができ、端子を利用して配線を簡単にすることができる。